

鈴木ひとみ市政報告

ごあいさつ 長く暑い夏がようやく終わりました。地球温暖化を実感する夏でした。全国各地で豪雨災害も多発し、能登半島の水害には、多くの皆様が心を痛められたと思います。

個人が食料や水の備蓄、避難経路の確認をすることも大切ですが、国や自治体が主導して、土砂崩れや倒木を起こさないよう、放置山林の管理も行っていくべきではないでしょうか。

一方、これ以上地球温暖化が進まないよう、CO₂の削減にも取り組んでいきましょう。

館山ふるさと大使 **祝** パリパラリンピックで **鈴木朋樹選手 銅メダル**

館山ふるさと大使の鈴木朋樹選手が2024パリパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得しました。

鈴木朋樹選手は館山市立神戸小学校、房南中学校の出身で現在はトヨタの所属です。これからの活躍もみんなでご支援しましょう。



令和6年9月市議会定例会 一般通告質問から

みんなの居場所をつくりたい。



地域の中に、誰もが立ち寄れる「居場所」を

館山市地域福祉計画の中で、「地域住民誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指します。」とあります。公民館でのサークル活動、高齢者向けの「サロン」は活発になっています。けれども日常的に立ち寄って「お茶を飲みながら気軽に交流できる居場所」も一人暮らしの高齢者が増える中で、孤立、孤独を防ぐため必要ではないでしょうか。

夏の異常な暑さからエアコンを使用していない高齢者を心配する声を多く聞きました。市は、「涼み処」として、市役所やコミュニティセンターなどのロビーを開放

しましたが、地域の「居場所」ができれば、地域住民が日中の暑さをしのぐこともできると思います。

子どもたちは、夏休みの間プール開放もなく、高温のために屋外で遊ぶこともできず、自宅にこもるかショッピングセンターで過ごすしかありませんでした。市では、夏休み中の子ども向けのプログラムをいくつか用意しましたが、日常的な子どもの「居場所」にはなりません。多くの自治体には児童館がありますが、館山市にはありません。代替りの機能を夏休み中の教室や公民館内に作れないか考えていきたいと思っています。